

**令和3年1月9日（土）**

**全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部（第15回）における丸山知事  
発言（要旨）**

**1. 県の状況について**

12月に入ってから、連日感染が確認されており、感染拡大傾向にある。12月中旬から県外からの帰省の自粛、1月4日には帰省をされたご家庭に対し、2週間、家族以外との飲食を自粛を要請し、直近の数字では10万人あたり1.34人に（感染者が）抑えられている。これは、県内での感染拡大と、帰省の自粛を要請したことにより、県民が飲食店の利用を大幅に控えている結果である。

従って、時短要請がされている地域と変わらない大幅な売上げの減が、今、（県内で）生じており、島根のような感染が抑えられている地域でも、飲食店は大きな打撃を受けており、感染拡大地域以外の飲食店についても、持続化給付金に加えて、特別な対策が必要だと考えている。

**2. Go To トラベルについて**

Go To トラベルについては、島根のような（感染のレベルが低位な）地域で、県民が県内の宿泊施設を利用しても、感染拡大に繋がるとは考えにくいいため、県内限定または感染の低位な地域に限った再開を是非ともお願いしたい。

全国的には少数派であることは承知しているが、少数派（の意見）を切り捨てることのないような対応をお願いしたい。

**3. 医療提供体制（医療関係の支援）について**

現在、新型コロナウイルス対策において、重責を担っているのは、規模の大きな二次・三次医療を担っている病院である。（平常時においても）すでに大きな負担を求めている中、さらに（新型コロナ対応の）負担を求めているという状況であり、限界に近い地域が広がっているという認識をもっている。

今回の（全国知事会の）提言は、時宜に合ったような新型コロナ向けの支援に関する内容であるが、本来、二次・三次の高度医療に対する診療報酬を、きちんと増額をしていくことが必要。一時的に、新型コロナの対応用に金銭的な支援を行っただけでは、人材確保は困難である。

新型コロナのようにリスクの高い医療に対応できる体制が確保できるよう長期的な展望が必要であるため、診療報酬全体、診療報酬の本体に言及すべきであると考えており、提言への追加をお願いしたい。

#### 4. 感染拡大地域について

昨日、都内で入院の必要な方が自宅療養している、透析患者が入院できるベッドが満床になっている、という報道を目にした。東京都では、新型コロナ用のベッド数拡大に取り組むとされているが、そろそろ限界にきているのではないかと受け止めている。

これ以上、新型コロナ用のベッド数を拡大すると、脳梗塞、心筋梗塞といった、この時期に発生リスクが高い、生死に関わる患者を受け入れられなくなる、と医療機関側が判断をして、これ以上の（新型コロナ用ベッド数の）拡大は難しい、という状況なのではないかと懸念している。

仮にそういった状況であるとすれば、大幅な新型コロナ用ベッド数の増加は困難であるため、これ以上の感染拡大を、ただちに抑えないと、症状の重い新型コロナの患者さんの命を失うことになりかねない。

若者の安易な行動が、回り回って人命を損なうことに繋がりがねない、という厳しい状況にあることを、具体的に、東京都知事から訴えていただく必要があるのではないかと考えている。

現状を確認の上で、必要があれば、具体的な医療の状況を踏まえて、抽象的な言葉でなく、具体的に示していただきたいと考えている。

そして、都内のある区では成人式を行われると伺っている。

（緊急事態宣言が発出される）この時期に、多くの若者が集まるイベントを行う必要があるのか、延期してはダメなのか。

保健所を設置している自治体が、感染拡大に繋がりがねないイベントを行うことは大変重大な問題であり、再考いただきたい。